

トップ

学校便り

学校案内

行事予定

お知らせ

講話

学校案内

学校概要

教育方針

学院の1日

学院の1年

卒業生の進路

施設案内

クラブ等活動報告

生徒会活動報告

◀ 2020年11月 ▶

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

クラブ等活動 運動部

剣道部

硬式テニス部

サッカー部

柔道部

水泳部

体操部

卓球部

登山部

軟式野球部

バスケットボール部

バレーボール部

ブラスバンド部

陸上競技部

クラブ等活動 文化部

ESS

囲碁部

演劇部

化学部

## 活動報告 将棋部

[トップ](#) > [学校案内](#) > [クラブ等活動報告](#) > 活動報告 将棋部

## 全国高文連将棋新人大会

2018年02月04日



1月26日・27日に第26回全国高文連将棋新人大会がグランドホテル浜松（静岡県）で開かれました。昨年全国5位入賞を果たした高2のT君が今回も出場。将棋人気のためか昨年より地方予選の参加者は大幅に増えたようで、その中から選ばれた都道府県代表95人により男子の部は戦われました。全員がスイス式

茶道部

社会研究部

将棋部

書道部

生物部

天文部

美術部

物理部

文芸部

## クラブ等活動 その他

無線同好会

カトリック研究会

GSS(ジャグレンジャー)

図書委員会

美化委員会

放送委員会

フィリピン ナガ市への  
支援募金のお願い

クラブ等活動報告

学院施設紹介動画

教職員  
採用情報

 **Gakuin**  
facebook

 生徒会 Instagram  
(Internet Explorer では  
表示されない場合があります)

 東ティモール  
聖イグナチオ学院  
近況報告

トーナメントによる予選4回戦を戦った後、上位30人が決勝トーナメントを戦うシステムです。豪華な会場で運営の手際もよく、全国大会らしい雰囲気を感じることができました。

T君は、昨年3勝1敗で通過した予選を今年は4連勝で通過。全国的な強豪も破っての予選通過で期待されましたが、残念ながら決勝トーナメントでは敗れ、2年連続の入賞は成りませんでした。最終的には決勝トーナメントで敗れた相手が優勝したのですが、その優勝者は予選で1敗しており、優勝者に土をつけた選手は予選落ちするなど、全国上位数十人は紙一重のところにいるのだと実感させられました。

Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 中国大会 2年連続準優勝

2017年12月26日



第16回中国地区高等学校将棋選手権大会が12月16日・17日に岡山市の「ピュアリティまきび」で開かれました。県大会では運営が忙しく将棋を観戦することができない私ですが、中国大会では引率者として観戦に専念でき、将棋の面白さを堪能することのできた2日間でした。中国大会、全国大会ともなると、不利になった選手も逆転狙いの勝負手を放ってくるので、有利な方としても終盤は一手のミスも許されな

い紙一重の戦いが続きます。秒読みの中で最善手を指し続けるのは至難のわざで、いたるところで逆転の将棋が目撃されました。

昨年もお出し準優勝を果たした高2のT君は、落ち着いた対局姿勢で勝ち星を積み重ねましたが、今年も惜しくも準優勝。2年連続準優勝は十分立派な成績ですが、優勝する力があるだけに、T君自身は納得していないと思います。これで広島学院勢としては3年連続の入賞となりました。

大会会長の挨拶では、中学生棋士藤井聡太四段の連勝記録達成、加藤一二三九段の引退とその後のパラエティーでの活躍、羽生善治永世七冠誕生、そして今年のクリスマスプレゼントのゲーム・パズル部門上位10品目のうちの4品目を将棋グッズが占めた話などが紹介され、今年がいかに将棋ブームであったかが語られました。ブームになる前から将棋を愛好している選手諸君には、将棋の面白さや奥深さを伝えていく担い手としての期待がある、という話は印象に残りました。

次は静岡県浜松市での全国大会（1月25日～27日・グランドホテル浜松）に出場します。

◀ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 第26回広島県高等学校将棋大会（11月19日）

2017年11月27日

新入大会の色が濃く3年生はほとんどいないにもかかわらず、史上最多123名のエントリー。立町の広島将棋センターには入りきらないので、学院の併室での開催です。会場は後ろまで選手で埋まりました。

男子A級はスイス式6回戦の方式で行われ、高2のT君が全勝で2年連続の優勝。昨年同様、中国大会（12月16日～17日・岡山市）と全国大会（1月25日～27日・静岡県浜松市）に出場します。高2のY君も1敗で最後のプレーオフまで残りましたが、惜しくも中国大会行きは逃しました。学院での開催ということで、部員は準備、片付けでも活躍してくれました。

実はT君は夏の全国大会でも活躍しました。宮城での高校選手権でも福岡での竜王戦でも、初日の予選を突破し決勝トーナメントに進んでいます。高校生の将棋人気が高まり、層が厚くなっている今、本来はこれだけでも特筆すべきことですが、T君の実力からすると本人も満足していないと考え、HPでは紹介してきませんでした。

昨年度は中国大会は2位、全国大会は5位入賞でした。今年も他県の強豪と対局できるのを楽しみに遠征してきます。応援をよろしくお願いします。

◀ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 高校将棋竜王戦

2017年07月18日

第30回全国高校将棋竜王戦広島県大会が7月16・17日に広島将棋センターで開かれました。16日は広島市内の高校生による予選、17日は広島市外の予選を勝ち抜いた人も加えての決勝トーナメントです。最近の将棋人気そのままに、参加者数は昨年の77名から今年は116名に激増。各校とも今年は入部者が多いという話も聞きました。

昨年は惜しくも準決勝で敗れた58期生のT君が、予選3連勝、決勝トーナメント6連勝の無敗で優勝。昨年敗れた相手や、全国大会入賞経験者などを危なげなく倒して、8月16日・17日に福岡市で行われる全国高校将棋竜王戦への出場を決めました。8月3日・4日に宮城県白石市で開かれる全国高校将棋選手権と合わせて、夏の2大全国大会の両方に出場します。

58期生のY君がベスト8、59期生のK君がベスト16。広島学院勢は出場した全員が勝利を挙げ、他校の生徒との対局を通して将棋の面白さを再確認した大会となりました。

顧問の私は平素は大会運営にまわることが多く、対局はほとんど見られないのですが、この大会は将棋センターの方が運営してくださるので観戦に集中できました。広島学院勢の44勝29敗の将棋の見過ぎで、帰宅時には目のピントが合わなくなってしまいました。

◀ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 6月の結果報告

2017年06月19日

6月は中学生の大会の月です。2つの大会の結果を報告します。

#### 第38回広島県中学生選抜将棋選手権大会（6月3日・広島将棋センター）

学院将棋部からは中2、中3合わせて9名が大会に参加。他校からは各校少数の強豪が参加するので、毎年予選通過をするのも難しい大会です。中2のF君がベスト16。決勝トーナメント1回戦で優勝者に敗れたのですが、途中まで善戦したなかなか良い将棋だったように思います。

#### 第13回中学校将棋団体戦広島県大会（6月18日・広島将棋センター）

3人1組でチームを組む団体戦。学院からは3チームが出場しました。予選で3勝すると決勝トーナメント進出ですが、AチームとBチームは2勝止まりで惜しくも予選敗退。中3のF君、中2のF君、中1のY君で組んだCチーム（中1はまだ将棋部員ではありませんが中1も参加できる大会です）は予選を3勝1敗で通過。決勝トーナメントは有段者をそろえた強豪チームとの対戦でしたが、準決勝では予選で敗れた祇園東中学に2-1で勝ち、決勝では十日市中学に1-2で敗れたものの、見事な準優勝となりました。

◀ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

### 第53回全国高校将棋選手権大会広島県予選

2017年05月19日

5月14日（日）に中国新聞ビルで行われた高校将棋選手権県予選。参加者は史上最多の147名で将棋人気の高まりが感じられる大会となりました。

上位2名が全国大会に出場できるA級個人戦では、高2のT.T.君が予選リーグをただ一人全勝で勝ち上がり決勝トーナメント進出。決勝戦では予選リーグでは勝った相手に惜しくも敗れ準優勝になりましたが、見事に全国大会行きを決めました。T.T.君は昨年の団体戦に続き2年連続の全国高校将棋選手権出場です。B級個人戦では高1のJ.O.君が予選では1敗したものの、決勝トーナメントは6連勝で勝ち上がり優勝。高1のI.K.君とH.O.君もベスト8に入りました。

団体戦は3つの予選リーグに分かれてまずは総当たり戦。広島学院からは3チームが出場しましたが、予選全勝の学院Aチーム（高2のS.T.君、S.Y.君。高1のR.N.君）だけが決勝トーナメント進出。準々決勝は3-0で勝ち上がりましたが、準決勝は1-2で優勝した広大附属チームに敗れ、全国大会出場はなりませんでした。

全国大会は8月3日・4日に宮城県白石市で行われます。

◀ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

### 文化部入部の季節です。

2017年04月24日

広島学院の春は文化部入部の季節です。

入部説明会に参加したばかりの中学2年生諸君。将棋部という選択肢もありますよ。この春は高校1年生も何名か新たに加わってくれました。

史上最年少でプロ棋士になった中学生棋士藤井四段の活躍、将棋を題材にした漫画「3月のライオン」の映画化、明日（4月25日）は広島学院の卒業生である糸谷八段が羽生棋聖の挑戦者になれるかどうかの大事な対局。将棋のニュースを聞かない日はないほど将棋熱は高まっています。

宣伝も兼ねて春休みに行われた将棋大会の報告をしましょう。広島将棋センターで開かれた第39回広島高校生将棋十傑戦。学院からは12名が参加し、前年度に好成績を上げて予選免除となった2名を除く10名が午前中の予選に参加しました。予選では全員が勝利を挙げ、トータルで17勝10敗。結局午後の決勝トーナメントには9名が出場し、結果は58期生のT君が準優勝を果たしました。

次の目標は高校生最大の大会、5月の高校選手権です。

◀ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 全国大会第5位入賞！

2017年02月06日



2月4日・5日に第25回全国高文連将棋新人大会が東京で開かれました。会場は国立オリンピック記念青少年総合センター。1964年の東京オリンピックの選手村跡地にある施設です。男子は803校4026人が参加した地方予選を勝ち上がってきた都道府県代表97人が参加。全員がスイス式トーナメントによる予選4回戦を戦った後、上位31人が決勝トーナメントを戦うシステムです。

広島県代表の高1のT君は、初日の予選を3勝1敗で通過し、決勝トーナメントでもさらに2勝。翌日の準々決勝では惜しくも敗れたものの見事第5位入賞を果たしました。2日間で2敗しましたが、その相手が優勝と準優勝。しかもその試合でも優勢と思われる場面があり、勝負は紙一重でした。ほとんどの試合で主導権を握り、相手が先に時間を使う展開になることが多く、同世代の高校生のトップ集団にいる感触が得られたように思いました。ベスト8のうち、2年生が6人で1年生は2人。来年度以降も全国強豪との対戦が楽しみです。



Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 中国地区高等学校将棋選手権大会 準優勝！

2016年12月20日



第15回中国地区高等学校将棋選手権大会が12月17日・18日に山口県周南市のホテル・ザ・グラマシーで開かれました。男子の部は中国5県の予選を勝ち抜いてきた32名がスイス式5回戦で戦い、高1のT君が見事準優勝を果たしました。優勝する可能性もあったので残念な気持ちもありますが、昨年の56期F君の3位に続く、2年連続の入賞です。

抽選の結果、初戦から広島1位のT君と岡山1位の選手が当たる組合せとなり、顧問としては心配しましたが、初日は順調に3連勝。2日目の初戦も、秒読みの中、最後は11手詰めを読み切り、実力の高さを見せました。決勝では惜しくも敗れましたが、山口の昔からの知り合いの選手とも話ができて、2月の全国大会に向けてのよい弾みになりました。



◀ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 第25回広島県高等学校将棋大会

2016年11月21日

11月20日(日)に第25回広島県高等学校将棋大会が行われました。会場は学院の合併室。県内各地から19校84名の選手が集まり、場内には対局時計のボタンを押す音が鳴り響きました。選手は皆マナーがよく、運営に協力的で、大会はスムーズに進行しました。

男子A級はスイス式トーナメント6回戦という方式で行われ、高1のT.T.君がただ一人全勝で優勝しました。全国大会上位入賞経験者を連続して破る安定した戦いぶり、広島学院勢3年連続の優勝です。その結果、T.T.君は中国大会と全国大会の2つの大会に出場する権利を得ました。他県の強豪との対戦が楽しみです。高1のS.Y.君とS.T.君も4勝2敗の好成績を収め、中国大会出場まであと一歩。結局、学院から県のベスト10に3名が入りました。高校になって入部したばかりの生徒も男子B級の部に出場し、初の将棋大会を経験しました。

中国大会は12月17日～18日に山口県周南市のホテル・ザ・グラマシーで、全国大会は2月3日～5日に東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されます。

◀ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 将棋大会結果報告

2016年09月05日

5月以来、久々の大会結果報告です。いつもは大会ごとに報告していたのですが、ここ3か月間、全国大会の準備・運営に気を取られてHPの更新を怠っておりまして。今後は以前のように報告しますのでお許しください。

第37回広島県中学生選抜将棋選手権大会(6月5日・広島将棋センター)

昨年に続き今年も大勢の新入部員を迎え、学院将棋部からは中2、中3合わせて過去最高の22名が大会に参加。中3のK君がベスト8に入りました。

第12回中学校将棋団体戦広島県大会(6月19日・広島将棋センター)

昨年は優勝した大会ですが、今年は中3のO君、N君、中2のF君で組んだチームが3位に入賞しました。また、中1なので将棋部員ではありませんが、K君、O君、F君で組んだチームも3位になりました。

第29回全国高校将棋竜王戦広島県大会(7月17～18日・広島将棋センター)

—昨年、昨年と56期生が優勝した大会ですが、今年は高1のT君が3位入賞。T君は優勝候補の一人でしたが、準決勝では中盤から動きにくい将棋になってしまい、惜しくも敗れました。

第40回全国高等学校総合文化祭 第52回全国高等学校将棋選手権大会

(8月2～3日・福山ニューキャッスルホテル・福寿会館)

5月の県予選で優勝した高3のR.F.君、S.F.君、高1のT.T.君が、県代表として男子団体の部に参加。今年の団体戦はレベルが高く、過去に全国で実績のあるチームでさえ予選通過できないような厳しい戦いになりました。予選リーグは4回戦で、3勝以上すれば予選通過。鳥取西に3-0、岩手に2-1で勝利した後、開成(東京)には1-2で敗れましたが、倉敷天城(岡山)に3-0で勝利。昨年に続き、今年も決勝トーナメントに進出。予選順位6位での通過でした。決勝トーナメント1回戦では全国大会個人戦優勝者を擁する山梨学院に1-2で敗れ、あと一歩で入賞は逃しましたが、強豪揃いの中、健闘したと思います。



全国大会のプログラムです。今年は地元開催なので、広島県の将棋事務局がある広島学院は、大会運営に深くかかわりました。表紙の写真は高3のS.F.君の自宅で撮影したものです。



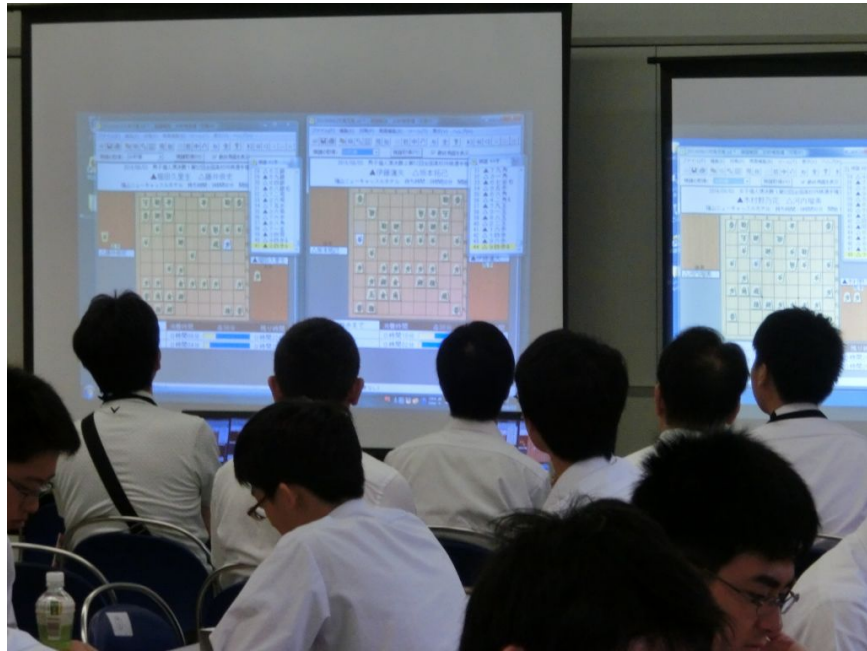
初日の会場は福山ニューキャッスルホテル。全国大会らしい豪華な会場です。開会式では高3のR.F.君が開会宣言を行いました。





広島学院チーム。予選リーグの様子です。





大会2日目の準決勝，決勝の会場はプロの将棋名人戦が行われたこともある福寿会館。男子は和室，女子は洋室での対局です。本大会では大会史上初の試みとして，盤面をリアルタイムで別の会場に送信，映写しました。そのために日本将棋連盟が平素使用している棋譜送信システムを借用。棋譜送信のタブレット操作を担ったのは，学院からスタッフとして福山に派遣した4名の将棋部員，高3のN君，H.F.君と高1のS.T.君，Y君でした。大役を無事こなしてくれました。

Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 全国高校将棋選手権大会広島県予選

2016年05月22日

第52回全国高校将棋選手権大会広島県予選が5月22日（日）に中国新聞ビルで行われ，広島学院チームが団体戦で二連覇を果たしました。予選リーグから準決勝まですべて3-0，決勝は広大附属を2-1で破っての優勝でした。全国大会は8月2日・3日に福山市で行われます。今年のメンバーは高3のS.F.君，R.F.君，高1のT.T.君。3年前の中学校団体戦で全国優勝したチームが，地元開催，高校生の全国大会に挑みます。

個人戦に出場したメンバーも，昨年同様健闘しました。参加した全員が2勝以上をあげ，高3のH.F.君と高1のS.T.君が予選突破。決勝トーナメントでそれぞれ優勝者と準優勝者に敗れ，あと1勝というところで全国大会出場を逃しました。

今年も中間試験前日という厳しい日程でしたが，出場選手は集中してよくがんばったと思います。

Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 広島高校生将棋十傑戦

2016年04月10日

春休み中に中区立町の広島将棋センターで広島高校生将棋十傑戦が行われました。十傑戦と言っても10人だけで戦うわけではなく，多くの参加者の中から上位10人を決める大会です。5月の高校将棋選手権の前哨戦として38回を数える伝統ある大会です。

広島学院からは8人が参加。全員が2勝以上を挙げ，学院同士の対局もあった中で，最終結果はT君（58K）が2位，S.F.君（56K）が5位，H.F.君（56K）が8位，R.F.君（56K）が9位で，4人が十傑に入りました。十傑に4人が入ったのはおそらく初めてです。

今年も全国高校将棋選手権大会が広島で開催されます。この勢いで5月の県予選に臨みたいと思います。

Tag 将棋部

[詳細を見る](#)**全国高文連将棋新人大会**

2016年02月20日



先月行われた第24回全国高文連将棋新人大会の報告をします。会場は熊本県阿蘇市。大会数日前はマイナス10度の寒さだったようですが、当日は気温が高く、小雨の中での大会となりました。噴火の危険も今はないようです。

県予選優勝で臨んだ高2のF君は、全国の強豪相手に2勝2敗。決勝トーナメント進出の条件である3勝にあと一步届きませんでしたが、2年前の中学校団体戦で全国優勝したときに対戦した熊本の選手に再会するなど、全国大会ならではのこともありました。

次の全国大会は、8月に広島で開催される全国高校総合文化祭です。地元開催の全国大会に出場できるよう、5月の予選に向け準備をしていきます。

引率者である私がインフルエンザにかかってしまい、報告が遅れました。予防接種はしていたのですが、人ごみの中に出るときはマスクをしなければいけませんね。皆さんも気をつけてください。

Tag 将棋部

[詳細を見る](#)**中国大会3位入賞！**

2016年01月07日

第14回中国地区高等学校将棋選手権大会が12月19日・20日にホテル法華クラブ広島で開かれました。本来なら次回の第15回が広島開催なのですが、来年度の全国大会が広島で開かれることもあり、重複を避けるため今回が広島開催となりました。

男子の部は中国5県の予選を勝ち抜いてきた32名がスイス式5回戦で戦いました。持ち時間は双方20分、持ち時間がなくなると1手30秒で指さなければなりません。前回大会では健闘しながら惜しいところで入賞を逃した広島学院勢でしたが、今年は高2のR.F.君が4勝1敗で見事3位入賞。高2のS.F.君とH.F.君もあと1勝で入賞という好成績でした。入賞を逃した2人は、2連覇した鳥取の強豪選手に敗れたものの、自分なりの形には持ち込めたところもあり、中国大会ならではの貴重な体験となりました。



Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 第24回広島県高等学校将棋大会

2015年11月25日

11月22日（日）に第24回広島県高等学校将棋大会が行われました。12月の中国地区高校将棋選手権大会と、1月の全国高文連将棋新人大会の予選を兼ねた大会です。広島県高校将棋連盟の事務局が広島学院にあるということで、会場は学院の合併室。学院での開催も3年目となりました。

男子A級は例年通りスイス式トーナメント6回戦という方式で行われたのですが、混戦だった昨年以上の大接戦。全勝者はなく1敗が4人で、最後まで誰が全国大会・中国大会の出場権を得るのかわからない戦いでした。優勝は夏の高校竜王戦でも優勝した高2のS.F君で、12月と1月の2つの大会の出場権を獲得。惜しかったのは僅差で3位となった高2のH.F君。スイス式というのは、勝点、ソルコフ（対戦相手の勝点の合計）などいくつかの指標を比較して順位を決めるのですが、2位の選手と3つの指標まで同点。4つ目の指標で1つ下回ったため全国大会行きを逃しました。直接対決では2位の選手を破っていただけに、運の問題であったとしか言いようがありません。昨年優勝した高2のR.F君は、1回戦から優勝候補との対戦となり、結果は6位で今年も中国大会出場となりました。

昨年に続いて、出場した学院勢は全員2勝以上をあげました。今年中国大会は広島開催のため、出場枠は例年より2つ増えて8。高2のN君も10位でもうひといきで中国大会でした。高2の3人のF君が出場する中国大会は、終業式後の12月19日・20日にホテル法華クラブ広島で、S.F君が出場する全国大会は、中学入試前の1月28日～30日に熊本県阿蘇市の阿蘇の司ピラパークホテルで開かれます。

Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 将棋怪童戦・高校将棋竜王戦

2015年08月24日

夏休み後半に行われた将棋大会の報告をします。

まずは8月16日に府中町で開かれた第14期村山聖杯将棋怪童戦。小学生低学年、小学生高学年、中学生、高校生の4つの部門で競った後に、優勝者4人による決勝トーナメントが行われ怪童が決まるシステムの大会で、地元の参加者が多いのはもちろんですが、参加制限はないので県外各地からも強豪が集まってきます。昨年優勝して第13期怪童となった中3のT君は、前回同様中学生の部で優勝しましたが、今回は高校生の部の優勝者に敗れて惜しくも準優勝。決勝戦は200手を超す熱戦で、当日大盤解説をした糸谷竜王によるとT君優勢の局面もあったとのこと。大会結果は中国新聞でも報道されました。

次に8月19日、20日に福岡市で行われた第28回全国高校将棋竜王戦。各都道府県から代表が1名ずつ参加する大会なのでレベルが高く、四・五段クラスの強豪も参加します。ただし他の大会に比べると持ち時間が短いので、前回の入賞者が今回は予選敗退、などということがよく起こる大会でもあります。県代表として参加した高2のF君は決勝トーナメント進出はなりませんでしたが、大会全体では3勝3敗。強豪の底力を体感しながらも、昨年3位の選手に勝つなど、全国に通用する力があることを知ることができました。



全国高校将棋竜王戦の審判長は慣例によりプロ棋士の竜王が務めるので、今回は広島学院卒業生46期生の糸谷竜王。読売新聞社の将棋担当記者で、将棋界ではよく名の知られた小田尚英さんも15期生で、大会の合間にいろいろと話をすることができました。写真は糸谷竜王と井上九段による大盤解説会の模様。秋の竜王の防衛戦についても激励の言葉を伝えておきました。



Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 2つの全国大会

2015年08月02日







7月末に行われた2つの全国大会の報告をします。

中学校の全国大会は7月25日に兵庫県尼崎市で開かれた文部科学大臣杯第11回中学校将棋団体戦。全国の代表64チームのうち西の32チームが尼崎会場に、東の32チームが東京会場に集まり、各会場で2チームずつを選出し、計4チームで8月に決勝大会を行うというシステムです。広島県代表として参加した中3のT君、T君、Y君はチーム戦を3試合戦い、1勝2敗で力及ばず予選敗退となりました。対局中は引率者や見学者は近寄ることが許されなかったため、遠くから見守るしかなかったのですが、さらに腕を磨こうという強い気持ちが生まれたのではないかと思います。午後からはプロ棋士の指導を受けることに。抽選で当たったY君は星野四段に飛車落ちの指導を受けることができました。





高校の全国大会は7月28日・29日に滋賀県米原市で開かれた第51回全国高等学校将棋選手権大会。高2の3人のF君で組んだ広島学院チームは、予選リーグを3勝1敗で通過し、15チームによる決勝トーナメントに進出。しかし決勝トーナメント1回戦で浦和高校に敗れ、入賞まであと1勝届きませんでした。大会を通じての2敗は、3位と5位の強豪チーム相手のものでありましたが、しっかりと相手に勝ち切られた感があり悔しさが残りました。来年の第52回大会は地元広島開催なので、さらに実力をつけて、あらためて強豪と対戦したいものです。

Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

### 高校将棋竜王戦

2015年07月20日

7月19日(日)・20日(月)に広島将棋センターで第28回全国高校将棋竜王戦広島県予選が行われ、F君(高2・水泳部)が優勝しました。昨年の優勝者であるF君(高2・バスケット部)は2位、N君(高2)が4位に入賞しました。

初日は広島市内の高校生による予選で、昨年同様、学院からの参加者は全員3勝以上を上げ、翌日の決勝トーナメントに進出。2日目の決勝トーナメントでは、必敗の将棋を拾ったり、時間切れになったり、学院同士の対局があったりと様々なドラマがある中、学院勢はベスト4になんと3名が残りました。優勝したF君は準決勝で先手番を得ると、主導権を握ってそのまま他校の強豪に勝利。決勝ではクラスメートのF君を破り、見事学院史上3人目の高校竜王戦全国大会出場者となりました。

F君は8月19日・20日に福岡で行われる全国大会に出場します。水球の試合や、滋賀での全国高校将棋選手権などもあり、F君にとって忙しい夏になりそうです。全国大会の審判長は慣例としてプロ棋士の竜王が務めるので、今回は学院卒業生の糸谷竜王。竜王との出会いも楽しみです。

Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

### 中学校将棋団体戦優勝

2015年06月15日

初夏は中学生の将棋大会の季節です。まずは終わったばかりの団体戦の優勝報告から。

6月14日に文部科学大臣杯第11回中学校将棋団体戦広島県大会が行われ、58期中3のT君、T君、Y君の3人で組んだチームが予選4試合、決勝トーナメント3試合を勝ち抜き見事優勝を果たしました。7月25日に尼崎市で開かれる西日本大会に出場します。決勝の相手は、昨年の中3のチームが決勝で敗れた塩町中。三将のT君が、攻められてもひるむことなく相手玉に迫りまず1勝。大将のT君が完封勝ちを果たしたところで優勝決定。二将のY君も持ち時間を十分に使い切って勝利し、結果的には3-0のスコアでした。応援に来てくれた先輩の力もあっての優勝だと思います。

5月31日に行われた第36回広島県中学生選抜将棋選手権大会は個人戦。昨年同様、決勝トーナメントに進出したのは2人。予選で敗れた生徒も、親善トーナメントで他校の生徒と数多く対戦する機会が得られる大会です。昨年優勝した中3のT君は、今年は惜しくも準優勝。予選では勝利した相手に決勝で敗れた紙一重の戦いでした。昨年は全国大会でも上位進出を果たしていただけに、今年も全国で腕試しをしたいところでした。

◀ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 高校将棋選手権

2015年05月17日

第51回全国高校将棋選手権大会広島県予選が5月17日（日）に中国新聞ビルで行われ、団体戦で4年ぶりの優勝を果たしました。昨年は紙一重のところでは優勝を逃しただけに喜びもひとしおです。春休みの将棋十傑戦で2～4位になった高2の三人のF君が組んだチームで、予選リーグ、決勝トーナメントをすべて3-0で勝ち抜くという完全優勝でした。

個人戦に出場したメンバーも健闘しました。昨年は予選リーグの9～12位に学院勢が四人並び、8名による決勝トーナメントに進めず悔しい思いをしましたが、今年は高3のM君とF君が予選突破。優勝者と準優勝者に敗れて入賞は逃しましたが、高校最後の選手権でベスト8の好結果を残しました。高3のY君は9位、高2のN君も13位と善戦しました。

中間試験前日という厳しい日程でしたが、出場選手は集中してよくがんばりました。全国大会は7月下旬に滋賀県米原市で開かれます。

◀ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 広島高校生将棋十傑戦

2015年03月23日

3月22日（日）に中区立町の広島将棋センターで広島高校生将棋十傑戦が行われました。十傑戦と言っても10人だけで戦うわけではなく、多くの参加者の中から上位10人を決める大会で、最終的に1位から10位まで順位付けをするので、たとえば準々決勝で敗れても、そのあとでさらに順位決定のための対局があるというシステムです。5月の高校将棋選手権の前哨戦として、なるべく数多くの対局を経験してもらおうという狙いがあります。

広島学院からは7人が参加。全員が予選を通過し、それぞれに見せ場を作り、結果は高1のF君が2位、高1のF君が3位、高1のF君が4位になりました。3人ともFなのでこれでは何のことかわかりませんね。バスケット部のF君が2位、水泳部のF君が3位、卓球部のF君が4位です。惜しくも優勝は逃しましたが、上位にこれだけ名をつらねたのは初めてです。

◀ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 全国高文連将棋新人大会

2015年02月12日



報告が遅れましたが、先月末に行われた第23回全国高文連将棋新人大会の結果を報告します。会場は新潟市のホテルオークラ。冬の新潟ということで身構えて行ったのですが、市街地は積雪ゼロ。広島のほうが寒く感じるほどでした。出場したのは秋の県予選で優勝した高1のF君。予選2勝2敗で、3勝以上で資格を得る決勝トーナメントには進めませんでした。昨年末の中国大会と今大会とで新たな知り合いができ、交流の輪が広がりました。次の大会は3月下旬の広島高校生将棋十傑戦です。

Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 中国地区高等学校将棋選手権大会

2014年12月20日

12月13日（土）・14日（日）に島根県松江市で第13回中国地区高等学校将棋選手権大会が開かれました。スイス式トーナメント5回戦という方式で、全勝者が優勝、1敗者までが入賞という大会です。県予選の上位6名に出場資格があり、学院からは3名が出場しました。2回戦終了時点で3人とも1勝1敗。あと1敗で入賞圏外というところから粘りをみせ、1敗のまま最終戦へ。残念ながら最終戦では3人とも負けてしまい3勝2敗で入賞を逃しましたが、試合後の感想戦で新たな発見をするなど、他県の選手との交流の中で、普段とは違う経験ができた有意義な大会でした。来年は広島で開かれます。





◁ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 第23回広島県高等学校将棋大会

2014年11月18日

11月16日（日）に24校88人の選手が参加して、第23回広島県高等学校将棋大会が広島学院の合併室で開かれました。12月の中国地区高校将棋選手権大会と1月の全国高文連将棋新人大会の予選を兼ねた大会で、一昨年までは八丁堀の広島将棋センターで行われていたのが、参加者が増えて狭くなってきたため、昨年から高校将棋連盟の事務局がある広島学院で開かれるようになったものです。

男子A級はスイス式トーナメント6回戦という方式で行われ、今年は例年にないほどの大接戦。上位6名が中国大会に出場する資格を得るのですが、今回は高1のF君が優勝、高2のM君が3位、高1のF君が5位となり、なんと中国大会出場枠の半数を学院勢が占めることになりました。優勝したF君は上位2名に与えられる全国大会出場権も獲得し、8月の高校竜王戦に続いての全国大会出場です。

出場した学院生は7名で全員2勝以上をあげました。学院同士の対局が何局かあってやりにくい面もありましたが、他校の選手との真剣勝負を数多く体験できたよい大会だったと思います。

中国大会は12月13日～14日に島根県で、全国大会は1月29日～31日に新潟県で開かれます。

◁ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 将棋怪童戦・全国高校将棋竜王戦

2014年09月05日

夏休み後半に行われた将棋大会の報告をします。

まずは8月17日に府中町で行われた第13期村山聖杯将棋怪童戦。8月初旬の中学生選抜大会で全国ベスト8になった中2のT君が、見事怪童の栄冠を勝ち取りました。中国新聞などで大きく報道されたので知っている人も多いと思います。

この大会は、幼少期から病氣と闘いながらもプロ棋士となり、29歳という若さで亡くなった広島出身の村山聖九段を偲んで毎年8月に行われているもので、村山の弟弟子にあたる学院出身のプロ棋士糸谷六段も毎年大会に指導者として顔を出しています。地元の参加者が多いのはもちろんですが、参加制限はないので県外各地からも強豪が集まってきます。小学生低学年、小学生高学年、中学生、高校生の4つの部門で競った後に、優勝者4人による決勝トーナメントが行われ怪童が決まるシステムで、T君は中学生の部で優勝した後に、準決勝、決勝と小学生を連続して破り、第13期怪童の称号を手にしたのでした。

次に8月24日、25日に福岡市で行われた第27回全国高校将棋竜王戦。四・五段クラスの強豪も参加する高レベルの大会で、県代表として参加した高1のF君は決勝トーナメント進出はなりませんでしたが、他県の代表に勝利することもでき、プロ棋士の指導対局も受けることができました。実はF君は将棋怪童戦にも参加しており、高校生の部で準優勝。あと1勝で決勝トーナメント進出というところで、兵庫の選手に敗れました。

高校生の次の大会は11月の広島県高等学校将棋大会。会場は広島学院です。  
(写真は全国高校将棋竜王戦)



Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 全国中学生選抜将棋選手権大会

2014年08月06日



8月2日～4日に第35回全国中学生選抜将棋選手権大会が山形県天童市で行われました。過去に男子のプロ棋士を30数名輩出している、中学生の大会としては最も権威のある大会で、予選からレベルの高い紙一重の戦いが繰り広げられました。

広島県代表として出場した中2のT君は、予選を2連勝で通過し、決勝トーナメントでも2連勝。準々決勝で敗れて惜しくも入賞は逃しましたが、手の見え方で他の選手を圧する場面も多く、実力の高さを示しました。

天童は駒の生産日本一の将棋どころ。全員が対局時に使った木製の名前札を記念に持ち帰りました。



Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 高校将棋竜王戦

2014年07月22日

7月20日(日)・21日(月)に広島将棋センターで行われた第27回全国高校将棋竜王戦広島県予選において、高1のF君が95人参加の大会を制して優勝。8月24日・25日に福岡で行われる全国大会に出場することになりました。竜王戦の全国大会出場は広島学院史上2人目の快挙です。

大会初日は広島市内の高校生による予選。学院から参加した7名は全員3勝以上をあげ、2日目にコマを進めました。2日目は広島市外の高校生も交えての決勝トーナメント。高2のM君が準々決勝で惜敗し、準決勝に残ったのは高1のF君のみ。準決勝以降は秒読みつきで対局することになり、より実力が反映される方式になりましたが、準決勝では全国大会出場経験豊富な強豪を破り、決勝でも長い手数で将棋を落ちて指し進め、見事に優勝を果たしました。2日間で9対局の長丁場でした。

今大会、参加した7名全員が自分なりのしっかりとした構想で粘り強く指せていたように思います。高3はこれが最後の大会。高2以下の生徒にとっては、次の大会に向けて自信につながる大会になりました。

◀ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 文部科学大臣杯中学校将棋団体戦

2014年06月16日

6月15日(日)に第10回文部科学大臣杯中学校将棋団体戦が広島将棋センターで行われました。今年中は3のA君、M君、O君で組んだチームが参加。まずは2つの予選リーグに分かれての総当たり戦。初戦から有段者を揃えた優勝候補のチームとの対戦となりましたが、時間をうまく使って団体戦らしく粘り強く指すことができ、結果は予選リーグを全勝で1位通過。さらに決勝トーナメントの準決勝も勝利しましたが、決勝では塩町中に敗れ惜しくも準優勝。西日本大会行きは逃しました。途中、逆転して勝ちの局面もあっただけに残念な思いもありますが、平素の部活のとき以上の力が本番で発揮できた団体戦らしいよい大会だったように思います。

◀ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 中学生選抜将棋選手権大会

2014年06月02日

中学生の個人戦としては最も大きな大会である第35回広島県中学生将棋選手権大会が、6月1日(日)に広島将棋センターで行われました。。高校の大会に比べて参加者数が少ない分、実力がある人がそろっている面もあって予選通過のハードルが高い中、2名が決勝トーナメントに進みました。そして予選、決勝トーナメント7戦全勝の中2のT君が昨年に続いて優勝。決勝戦は相穴熊の熱戦でしたが、常に相手との距離を冷静に測り、持時間もうまく使っての見事な指し回しでした。T君は8月3日・4日に山形県天童市で行われる全国大会に出場します。

◀ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 高校将棋選手権

2014年05月17日

第50回目を迎えた全国高校将棋選手権大会の広島県予選が、5月11日に中国新聞ビルで行われました。団体戦ではM君(高2)、F君(高1)、F君(高1)で組んだチームが準優勝。予選リーグは全勝で勝ち上がり、準決勝で崇徳に勝ったものの、決勝では修道に1-2で敗れました。予選では崇徳が修道を破っており、どのチームにとっても紙一重の戦いだったように思います。個人戦はスイス式という方式でまず全員が5回対局し、上位8名までが決勝トーナメントに進出するというシステムですが、なんと9位から連続4人が学院勢という結果に。こちらも惜しいところで上位進出を逃しました。再来年の第52回大会は全国大会が広島で開催されることが決まっています。地元開催なので全国に出場できる人数も例年の倍で、出場のチャンスが広がります。56、57、58期生が参加する年です。

◀ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 広島高校将棋十傑戦

2014年03月28日



3月23日(日)に広島将棋センターにおいて広島高校将棋十傑戦が行われました。上位大会につながる大会ではありませんが、5月の将棋選手権の前哨戦として36回を数える伝統ある大会です。それぞれが20分の持ち時間で対戦し、こちらの残り時間が1秒で相手の持ち時間がなくなって勝ち、などというきわどい勝負もありました。参加者が増えたため、終了は夕方7時過ぎ。ベスト16に3名が残り、55期のM君が7位入賞を果たしました。次は5月の選手権です。

◀ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 広島県高等学校将棋大会

2013年11月21日

第22回広島県高等学校将棋大会が11月17日に開かれ、史上最多の28校109名が参加しました。これまでずっと八丁堀の広島将棋センターで行われてきた大会ですが、会場の規模を超える参加者数となったため、今年は広島学院の合併室での開催となりました。将棋盤・駒は将棋センターから、対局時計は中国新聞社から借り入れての大会です。準備、片づけは大変でしたが、他校の先生や選手の皆さんが協力してくれたおかげで、スムーズな大会運営ができました。

広島学院勢は全員男子A級の部に参加しました。スイス式トーナメント6回戦で5勝すれば中国大会に進出できたのですが、残念ながら4勝止まりが2名で出場資格は得られませんでした。今年 of 中国大会は鳥取、全国大会は北海道。来年の鳥根の中国大会、新潟の全国大会をめざしてがんばりましょう。

◀ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 文部科学大臣杯中学校将棋団体戦

2013年06月16日

6月16日(日)に文部科学大臣杯中学校将棋団体戦が広島将棋センターで行われました。2週間前の大会同様、中2以上の部員に限らず中1なども申し込める大会で、3名でチームを組んで戦います。結果は、中3のF君、F君(イニシャルが同じ2人です)と中1のT君で組んだチームが見事優勝し、大阪での西日本大会の出場を決めました。学院のチームが優勝するのはこれが2年ぶり3回目です。決勝は予選でも対戦した強豪修道チームとの対戦。予選は2-1での勝利でしたが、決勝は途中で機会をうまくとらえて一気に攻め切り、3-0で優勝を決めました。西日本大会は7月、それを勝ち上がると全国大会は8月です。

◀ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 中学生選抜将棋選手権大会

2013年06月03日

6月2日(日)に、第34回広島県中学生選抜将棋選手権大会が広島将棋センターで開かれました。日本将棋連盟主催の全国大会につながる大会で、中学生の個人戦としては最大規模のものです。それでも、高校の大会と違って中学の将棋大会の運営組織はまだ整備されていないため、学校からの参加申し込みでなくても、個人で自由に申し込める大会となっています。学院からも中2以上の将棋部員だけでなく、中1も参加しました。

午前中の予選で半数に絞られ、午後決勝トーナメント。力がある生徒でも予選で敗退する厳しい個人戦でしたが、結果は将棋部員では中3のF君が強豪を破って3位入賞。そして部員ではありませんが、大人が参加する一般の大会でも活躍している中1のT君が、落ち着いた指し回しで見事優勝。8月初旬に山形県天童市で行われる全国大会に出場することになりました。

◀ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 高校将棋選手権

2013年05月13日

高校生にとって最も大きな大会、全国高校将棋選手権大会広島県予選が、5月12日に中国新聞ビルで行われました。史上最多の140名がエントリー。5年前くらいまではずっと60〜70名程度だったことを思うと、このところの将棋人気がわかります。

男子団体はBチーム（O君（高2）、F君、M君（高1））が準優勝、Aチーム（T君、Y君（高3）、K君（高2））が第3位で、全国行きはなりませんでした。残念だったのは、学院同士の対戦のときに二歩の反則が生じてしまったこと。うっかりミスとはいえ、全力が出し切れなかったことで、若干調子を落とした面があったかもしれません。それでも入賞したことに自信を持って、さらに腕を磨いてほしいと思います。個人戦は予選3勝までは何人か行けたのですが、決勝トーナメント進出のための4勝以上の壁は破れませんでした。

次の大会は7月にあります。

Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 中国地区高等学校将棋選手権大会

2012年12月20日



12月15日（土）・16日（日）に岡山市で第11回中国地区高等学校将棋大会が開かれました。県予選の上位6名に出場資格があり、学院からは2名出場する予定だったのですが、高2のT君はテニスの試合と重なってしまったため中国大会を辞退。他校の生徒が繰り上げて出場することになりました。ということで、学院からは高2のY君だけが出場。入賞はできませんでしたが、中国大会で2勝を上げることができ、将棋の楽しさと奥深さを感じることでできた大会となりました。なんと中国大会の上位3名は広島県勢。広島県予選を勝ち上がることは、中国大会並みに難しいと言えるかもしれません。



◀ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

### 広島県高等学校将棋大会

2012年11月19日



11月18日に広島将棋センターで行われた第21回広島県高等学校将棋大会。史上最多の102名が参加し、将棋センターの対局時計が足りなくなるほどの盛況ぶり。



スイス式6回戦という方式で行われた男子A級では、高2のY君が4位、T君が5位となり、上位6名に与えられる中国大会への出場権を得ました。出場した他の選手も県の強豪を破るなど、日頃コツコツと努力した成果が出たように思います。中国大会は期末試験直後の12月15日・16日に岡山市で開催されます。



Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 高校竜王戦

2012年07月17日

7月15日に高校将棋竜王戦の広島県予選が行われました。将棋熱は高まる一方で、参加者は100名ほど。男女に分かれていない唯一の大会で、優勝者1名だけが全国大会に出場できます。学院からは12名が参加し、2分の1にふるい落とされる予選を9名が通過。決勝トーナメントで強豪相手に善戦した対局も多く、部員は将棋の楽しさを再認識したのではないかと思います。最高成績は高2のT君のベスト8。出場した全員が勝利できたのが何よりでした。

◁ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 文部科学大臣杯中学校将棋団体戦

2012年06月20日

6月は中学生の将棋大会の月です。17日（日）には、第8回文部科学大臣杯中学校将棋団体戦の広島県大会が開かれました。18チームが3つのリーグに分かれて総当たりの予選を行い、広島学院Aチーム（中3 Y君、F君、M君）は4勝1敗でリーグ2位、広島学院Bチーム（中3 T君、中2 F君、F君）は5戦全勝でリーグ1位となり、ともに決勝トーナメントに進出しました。決勝トーナメントでは修道に敗れ、Bチームは3位、Aチームはベスト8。このところ2年連続で優勝し、西日本大会に出場していただだけに残念ではありましたが、ひとつの目標ができ、また成長していけるのではないかと期待しています。来月は高3最後の大会、高校竜王戦があります。

◁ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 中学生選抜将棋選手権大会

2012年06月04日

6月3日（日）に第33回広島県中学生選抜将棋選手権大会が広島将棋センターで行われました。参加した7名全員が予選を通過。中3のM君と、中2のF君がベスト8に入りました。皆将棋が好きで、楽しそうに指していましたが、持時間をあまり使わないで終局する対戦も多くありました。中学生はじっくり考えるというより感覚で早めに決断して指す者が多く、それはそれで大切なことなのですが、強豪と当たるときはもう少し時間を使って深く読む必要があるかもしれません。17日（日）には文部科学大臣杯中学校将棋団体戦が行われます。

◁ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

## 高校将棋選手権

2012年05月21日



報告が遅れましたが、5月13日に全国高校将棋選手権大会広島県予選が中国新聞ビルで行われました。近年、若者の将棋熱は高まっており、参加校数、参加者数とも史上最多となりました。参加者数は2年前が80名、昨年が100名、そして今年が120名です。

昨年は団体、個人とも優勝しましたが、今年は団体戦でAチーム（高3のT君・K君・I君）が3位入賞。残念ながら全国大会出場はなりませんでしたが、優勝した福山誠之館、2位の修道と三つ巴で星をつぶし合う戦いとなり、実力の一端は見せられたのではないかと思います。福山誠之館の選手は以前、遠くから学院まで

練習に来てくれたことがあり、その意味でも全国大会での活躍を応援したい気持ちです。個人戦はベスト16が最高でしたが、皆大会を通して将棋への興味を深めてくれたことと思います。

全国大会は今年は富山開催ですが、4年後は広島で開催されることが決まっています。地元開催のときは、全国大会への出場枠が広がるので、広島県勢にとってはチャンスの年とも言えます。今の中2が高3、中1が高2の年です。

◁ Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

春です。

2012年04月06日



中2の入部を心待ちにする季節がやってきました。

活動できる曜日は火曜日または水曜日です。

学院将棋部の歴史は30年。

現在中高合わせて30数名で活動しています。

Tag 将棋部

[詳細を見る](#)

[▲ ページの先頭へ戻る](#)



広島学院中学校・高等学校

〒733-0875 広島市西区古江上1-630 TEL:082-271-0241 / FAX:082-271-6784

[サイトマップ](#) [サイトポリシー](#) [プライバシーポリシー](#) [アクセス](#) [お問い合わせ](#) [リンク集](#)

Copyright (C)学校法人上智学院 広島学院中学校・高等学校, .All Rights Reserved.